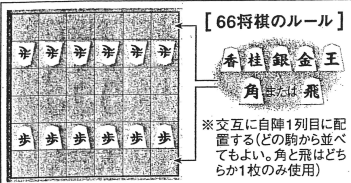


天童商工会議所は将棋を手軽に楽しめるよう、縦横とも6マスの計36マスで対局を行う新ルール「66(ろくろく)将棋」を考案した。決着がつくまでの時間が短いため、昼休み時でも指すことができ、観光ツールにもなり得る。駒と盤のセットを商品化するとともに、将棋アプリの開発も進める計画だ。

天童商議所オリジナル



【66将棋のルール】

香桂銀金王
角は九は飛
歩は六は歩

※交互に自陣1列目に配置する(どの駒から並べてもよい。角と飛はどちらか1枚のみ使用)

手軽楽しい「66将棋」

将棋駒を活用して地域活性化を図る同商議所の「ココマノミクス」の一環。同商議所(佐々木)の創出プロジェクトで、所定の配置に比べ一気に奥深く変わった。新ルールについて、創学大(宮城県名取市)特任教

36マス、早い決着

商品化準備、アプリも

授が発表された。歩以外の駒の配置を自由にした点がポイントで、所定の配置に比べ一気に奥深く変わった。新ルールについて、創学大(宮城県名取市)特任教

66将棋ルール

6×6の計36マスの盤を用意。双方とも歩6枚、王金、銀、桂、香、飛または角の計12枚を配置する。駒の動かし方など本将棋と同じルールで王を取った方が勝ちとなる。まず自陣2列目に歩を自動的に並べ、他の6駒は自陣1列目に交互に並べていく。配置によって戦法が大きく変わる。

単純そうにみえるが、配置パターンは207万3600通り。本将棋で最も堅い囲いとされる「穴熊」を築きやすいように配置しても、相手に角や香で狙い打ちされると一気に防衛が破られてしまう。

駒配置が勝負左右。創学館高の部員試行。創学館高囲碁将棋愛好会の部員らによる試行では、本将棋の棋力が高い方が勝

館高校(大宮市)に試行を依頼したところ、短時間で楽しめるほか、駒配置から始まる心理戦などが高い評価を受け、同委員会を取り組みに自信を深めた。

駒と盤セットの商品化に向け、人間将棋シーンやサクラノボの写真をあしらった盤、パッケージデザイン「ば」と期待する。

の検討を進めている。また人工知能(AI)を手掛ける企業と連携し、オリジナルアプリの開発にも乗り出す。大内久幸総務部長は「児童で生まれたオリジナルとして発信したい。将棋チームに再点火し、交流人口の拡大にもつながる」と期待する。

つ確率は高いが、駒の配置によって勝負が左右される傾向が出たという。生徒からは「短い時間でも対局できる」「最初の心理戦が魅力的」「奥が深い」「負けた時の悔しさは本将棋と同じ」といった感想が寄せられた。

顧問の若槻浩二教諭は「短い時間で将棋の面白さやルールを身に付けられるに盛り上げるツールになりそう」と話。